

大学院修士課程 公衆衛生看護学
上級実践コース（保健師国家試験受験資格取得）
・修士論文コース

ST. LUKE'S
INTERNATIONAL
UNIVERSITY

Do your best , and it must be first class



聖路加國際大學

大学院 専攻およびコース

修士論文コース：

- 各分野での専門性を高め、研究能力の開発を目指すコースです。修士論文を作成し、修士論文審査および最終試験があります。18の専門分野を開講しています。

上級実践コース：

- 看護ケアや看護管理のスペシャリストとして、より専門性を深めた実践能力の開発を目指すコースです。実習と特定の課題についての研究成果の審査および最終試験があります。13の専門分野を開講しています。

※保健師国家試験受験資格取得コース



修了時に期待される能力

公衆衛生看護学上級実践コースは
高い実践力とリーダーシップを備えた保健師を育成します

保健師は、人々の健康で幸せな生活を実現するために、地域や職場の複雑で多様な健康課題に取り組んでいく専門職です。

本学では、主体的な授業や実習を通して、保健師として必要な知識や技術、専門職としての姿勢を身につけることを目標とします。

また、修士論文コースの学生とともに研究方法を学ぶことにより、研究結果を現場に生かす能力と、現場の問題を研究の中で探究する能力を育みます。

このような学習環境を通して、保健師活動で直面する課題に柔軟に取り組み、向き合い続けることができ、さらに現場でのリーダーシップを取れる人材となるように支援します。



カリキュラム(修士課程)

博士前期課程(修士課程)のカリキュラム構成

看護学専攻

基盤分野

【専門分野】

- 看護心理学
- 基礎看護学
- 看護管理学
- 慢性期看護学
- 老年看護学*
- 國際看護学
- ニューロサイエンス看護学
- 看護情報学
- 看護技術学
- 遺伝看護学*
- 急性期看護学*(周麻酔期看護学)*
- 精神看護学*
- 公衆衛生看護学**
- がん看護学・緩和ケア*
- 看護統計学
- 看護教育学
- 小児看護学*
- 在宅看護学*

*…看護系大学協議会より専門看護師(CNS)教育課程として認定されているコース

**…保健師国家試験受験資格を取得可能

* 2019年度は周麻酔期看護学の募集は行わず、急性期看護学のみの募集とします。

修士論文コース

上級実践コース

特別看護研究

課題研究・実習

ウィメンズヘルス・助産学専攻

基盤分野

【専門分野】

- ウィメンズヘルス*
- 助産学*

*…助産師国家試験受験資格および受胎調節実地指導員申請資格が取得可能

助産学上級実践コース内に本学とJICAの連携協定のもと、海外協力隊として、看護・助産に関わる健康教育に従事する経験を通して、聖路加国際大学大学院看護研究科で修士号を取得するプログラムを用意しています。

修士論文コース

上級実践コース

特別看護研究

課題研究・実習



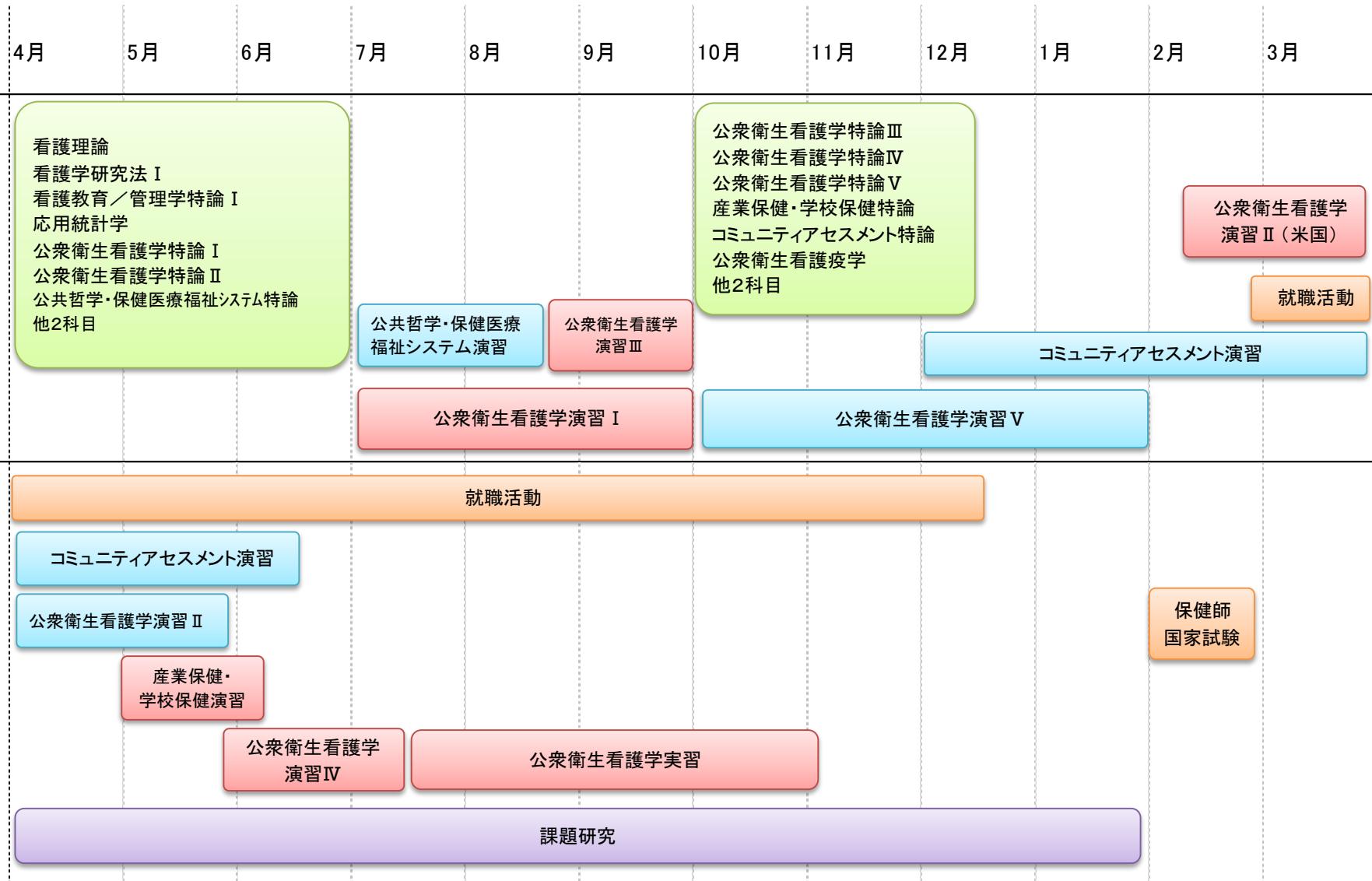
PHNコース 履修科目例

赤字:保健師指定規則科目(28単位)・黒字:大学院修士科目(32単位)

		講義	演習	実習	研究	
1年	前期	看護理論(2単位) 看護学研究法 I (2単位) 看護管理/教育学特論 I (2単位) 選択科目(2単位) 選択科目(2単位) 公衆衛生看護学特論 I (2単位) 公衆衛生看護学特論 II (2単位) 応用統計学(2単位) 公共哲学・保健医療福祉システム特論(2単位)	公衆衛生看護学演習 I (2単位) 公共哲学・保健医療福祉システム演習(1単位)			
	後期	看護倫理(2単位) 選択科目(2単位) 選択科目(2単位) 公衆衛生看護学特論 III (2単位) 公衆衛生看護学特論 IV (2単位) 公衆衛生看護学特論 V (2単位) 産業保健・学校保健特論(2単位) コミュニティアセスメント特論(2単位) 公衆衛生看護疫学(2単位)	公衆衛生看護学演習 II (2単位) 公衆衛生看護学演習 V (2単位)	公衆衛生看護学演習 III (2単位)		
2年	前期		コミュニティアセスメント演習(2単位) 産業保健・学校保健論演習(2単位)	公衆衛生看護学演習 IV (3単位)		
	後期			実習(6単位)	課題研究(2単位)	



保健師コース 2年間の流れ



科目の紹介①

【公共哲学・保健医療福祉システム特論】

日本の保健医療福祉に関する法・制度の基本理念としてのJustice論、および公共哲学を理解し、法や制度を実現するしくみとしての行政、保健医療福祉の法や制度の種類や内容、政策のためのPDCAサイクルを理解する。これらを踏まえ、法や制度を具体化し、開発する公衆衛生看護実践の方法と保健師が行う効果的な政策化のプロセスの理解を深める

- ・保健医療福祉システムの目標と理念
- ・公共哲学とは何か、Justice論について
- ・功利主義、リバタリアニズム
- ・リベラリズム、コミュニタリアニズム
- ・公衆衛生と保健医療福祉行政
- ・保健医療福祉の計画・実施・評価と政策のためのPDCAサイクル
- ・保健医療福祉の法・制度を具体化し、開発する公衆衛生看護実践の方法
- ・行政組織の特徴と意思決定、地域づくりの方法論



科目の紹介②

【公衆衛生看護学 特論Ⅱ】

公衆衛生看護における課題解決やエビデンスに基づく実践(健康プログラム開発など)のために、

Evidence-Based Medicine/Public Health(EBM/PH)の手法を学び、実践に適用する力を育成する。

- ・公衆衛生看護実践とエビデンス
- ・EBM/PHとは
- ・EBM/PHのステップ1:問題の定式化
- ・EBM/PHのステップ2:文献検討(RCT)
- ・EBM/PHのステップ3:リサーチエビデンスの吟味
- ・EBM/PHのステップ4:実践への適用
- ・健康の社会的決定要因、健康格差と社会疫学



科目の紹介③

【公衆衛生看護学 特論Ⅲ】

公衆衛生看護の目的と基本理念、Professionalismと公的責務、対象の捉え方、対象との協働関係と支援姿勢、文化と多様性の理解とそれらを尊重した活動、健康の社会的決定要因(Social Determinants of Health)と今日的健康課題に取り組むための方法論について探究する。

- ・Professionalismと公的責務、対象のとらえ方と協働関係のあり方
- ・公衆衛生、公衆衛生看護における倫理的課題
- ・公衆衛生看護の倫理と専門職としての保健師・事務職との協働
- ・住民・関係者との協働
- ・公平な保健福祉サービスの分配
- ・契約に基づかない支援
- ・法・制度と人権の狭間
- ・保健医療福祉の地域格差
- ・公衆衛生看護と倫理：放射線看護に焦点を当てて



PHNコース 課題研究のテーマ

- 2018年度**
- 不登校支援の在り方の検討～不登校から社会で活動できるようになった経験者の語りから～
 - 就労移行支援事業所における発達障害を抱える人々が働き続けるための支援
 - 女性生活困窮者に対して福祉事務所の保健師が行う支援
 - 組織内で事業化の承諾を得るための産業看護職の技術
 - 香川県の一診療所における2型糖尿病有病者の食生活
 - 地域で生活する精神障害者と地域住民の交流イベントがもたらしたもの
 - 医療的ケア児に対する在宅療養移行期の行政保健師の支援
- 2017年度**
- 産業看護職による職場環境改善活動：活動を推進する技法に関するインタビュー調査
 - 仕事をしながら介護を続けていくための要因
 - 災害時の身体要援護者支援での保健師の役割と課題
 - 子育てと介護を同時に使う女性への看護職の支援
 - 発達障害児をもつ母親の子育ての経験 -就学移行期におけるよりよい支援に向けて-
 - 1歳6ヶ月健康調査における日本に暮らす外国人への保健師の支援-子どもの精神発達に焦点をあてて-
 - 定年退職した男性の自主グループへの参加の経緯と参加後の変化



公衆衛生看護学実習の例

自分自身で学びたいテーマ、目標を設定し、実習を行う

例)

テーマ：日本で暮らす外国人の子どもの発達に対する支援

- ・外国人の方が多く暮らしている市町村での実習
- ・療育センター、施設での実習
- ・保育園実習
- ・外国人の方をサポートする民間団体 等



大学院生の論文テーマ一覧(修士論文)

- 2017年度** 企業において定年年齢到達後も就労継続している60歳以上男性の働くことの意味
健康課題及び解決するための政策に関する地方議員による認識
乳幼児を育てる働く母親の仕事と育児の両立に向けての産業看護職の支援
- 2015年度** 保健師の遺伝に関する相談の現状とそれに伴う困難感
- 2013年度** 保健師が行う未熟児・低出生体重児を育てる家族への支援の構造
- 2012年度** 生活習慣病のリスクがある女性の健康に関する意識の構造～産後の生活に焦点を当てて～
- 2010年度** 母子継続支援のための助産師と保健師の連携システムの構造
生活習慣病予防のための対象者中心の保健指導を実践する看護職の技術
保健師がプリセプターの役割を担うことによる学び：自身と組織の変革
大学の保健管理に携わる看護職の役割
- 2009年度** 事務職上司から見た保健師への役割期待
在日中国人女性の異文化における育児経験：困難と対処のプロセス
地域住民が精神障害者と関係をつくるプロセス～専門職が関わった事例から～
- 2007年度** 「行政保健師の職業的アイデンティティ尺度」の開発と関連要因の検討
- 2006年度** 都市部における地域密着型無床診療所において看護師が働き続ける理由とその方法
- 2005年度** 在宅高齢者を看取る家族を支援した訪問看護師の看護観
市町村保健師にとって事業委託することの意味



大学院生の論文テーマ一覧(博士論文)

2016年度

- ・家族介護者が要介護者とともにある関係をつくり生活を再構築するプロセス
- ・乳幼児を育てる母親の地域とのつながりを生む地域交流活動への参加と子育て・健康認識の関連
- ・病棟勤務経験後に訪問看護を始めた看護師の「訪問看護と職場への適応」と関連する要因および継続意欲との関連
- ・在宅で生活する認知症高齢者家族のソーシャルサポート尺度の開発
- ・座業の多い勤労者の「運動」および「日常生活での身体活動」継続モデルの構築
- ・行政におけるプリセプター保健師の経験学習と先行要因・専門職としての成長との関連

2015年度

- ・参加型アプローチを用いた職場環境改善が職場・労働者にもたらすアウトカムとその関連要因の検討

2014年度

- ・東日本大震災で大津波被害を受けた透析患者の体験
- ・首都圏在住の定年退職した男性が地域とのつながりを構築していく理論の生成
- ・Directly Observed Treatment, Short-Course (DOTS) による服薬療養支援と結核患者の療養生活との関連

2013年度

- ・中高年者における犬の飼育と健康認識と地域参加のモデル構築・検証
- ・行政保健師の離職意図に関連する「仕事の要求」と「仕事の資源」
-Job demands-Resources Modelによる分析 -
- ・新生児家庭訪問における保健師の気になる家族を見いだす方法の構造



研究室で取り組んでいる研究の一例

保健師の活動と放射線

○ トップページ

○ 代表者の挨拶

○ 概要・実施体制

○ 目的・特色

○ 活動報告

○ 保健師の方へ

○ 一般の方へ

○ Q&A

○ リンク集

○ 資料室

○ 主催



トップページ » 保健師の方へ » リーフレット「放射線と健康②」を一部修正しました

リーフレット「放射線と健康②」を一部修正しました

リーフレット「放射線と健康②」の内容を一部修正しました。修正版はPDFにてダウンロードできます。 (2015年3月更新)

リーフレット 「放射線と健康」



「放射線と健康」のリーフレットを6種類を公開しています。それぞれ、PDFにてダウンロードできます。
(2015年2月更新)

平成25年度活動報告



【放射線と健康②】

「おいしい水を飲んで、健康に過ごしましょう！」 (1.46M)

B)

*一部内容を修正しました。 (2015年3月)

主な修正点は以下の通りです。

相談窓口

隨時、ご相談受付中！

麻原 asahara@slcn.ac.jp

小林 maasa-kobayashi@slcn.ac.jp

浦口 uraguchi.m@slcn.ac.jp (学校保健)

永井 tomoko-nagai@slcn.ac.jp

江川 yuko_egawa@slcn.ac.jp

大学院オープンキャンパス等でも相談会を実施します！

詳しくは、ホームページをご覧ください。

聖路加国際大学 地域看護・公衆衛生看護学教室

【ホームページ】http://university.luke.ac.jp/faculty_and_research/public_health.html

【Facebook】 <https://www.facebook.com/StLukes.publichealth/?ref=bookmarks#>

